

アロマのゴキブリに対する忌避作用

～ゴキブリが嫌う精油は「レモングラス」！？～



公益社団法人 日本アロマ環境協会(略称:AEA J、東京都中央区)は、アロマテラピーにおいて使用される3種の精油にゴキブリの忌避作用があるかを確認する実験を行いました。その結果、「レモングラス精油」に忌避作用が確認されました。

アロマテラピーで使用される精油の中には、虫よけ作用があるといわれる種類があります。今回の実験では、「レモングラス」、「シトロネラ」、「ペパーミント」の3種類の精油について、ゴキブリに対する忌避作用があるかを確認するための実験を行いました。その結果、3種類の中で「レモングラス」に最も強い忌避作用が確認されました。

実験概要

- 対象 チャバネゴキブリ成虫 各精油あたり150匹
- 精油 レモングラス、シトロネラ、ペパーミント
- 測定方法

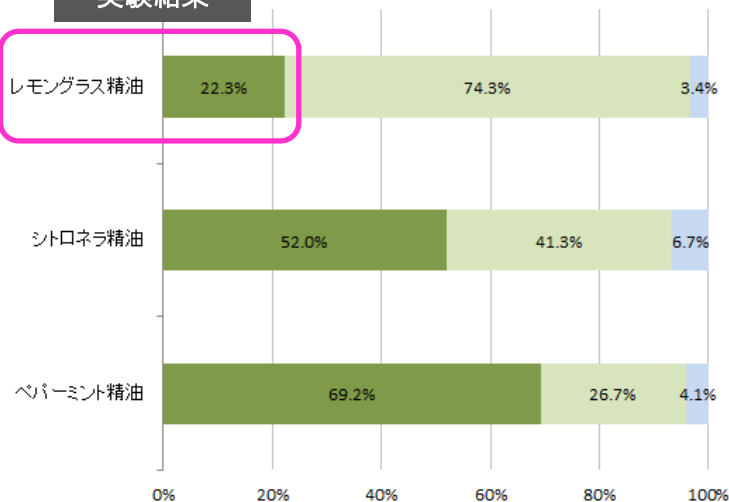
大きなプラスチックケース(約D30cm×W60cm×H30cm)の中に、ゴキブリが出入り可能な穴のついた小さな箱を2箱用意。片方の箱の中には精油を2滴垂らしたシャーレを置き、もう片方の箱には空のシャーレを置く。ゴキブリ50匹をプラスチックケースの中に放ち、一昼夜後にそれぞれの箱で発見されたゴキブリの数を計測する。それぞれの精油について、各3回実験を行った。

※ゴキブリは暗い場所に集まる習性があるため、暗い空間である箱の中に入ることが予想される。その行動において、精油の有無による影響を調べることで、ゴキブリが精油を忌避する(嫌う)かどうかを判断。

プラスチックケース



実験結果



- レモングラス精油を置いた箱でのゴキブリの発見率は、22.3%と低くなりました。
- 一方で、ペパーミント精油においては、逆に精油ありの箱のゴキブリ発見率が高くなりました(69.2%)。

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

公益社団法人 日本アロマ環境協会 広報担当 Tel: 03-3548-3401(平日9:00~17:00)